

様式第1号（第6条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度第1回坂戸市児童福祉審議会
開 催 日 時	平成30年5月15日（火） 午前10時00分 開会 午前11時45分 閉会
開 催 場 所	上下水道合同庁舎 2階 A・B会議室
議長（委員長・ 会長）の氏名	竹下 玲
出席者（委員） の氏名・出席者数	永井 敬道、町田 満、和田 幸江、渡邊 久美子、鴨志田 加奈、 竹下 玲、西村 早苗、本間 絹江、福島 亜紀子、富澤 昌樹、 仲井間 君恵、榛原 美枝子、仲島 嘉寿子、瀧澤 時夫 計14名
欠席者（委員） の氏名・欠席者数	山川 玲子 計1名
事務局職員の 職・氏名	福祉部長 齊藤 多美恵 福祉部次長兼子育て支援課長 清水 廣道 子育て支援課 児童担当課長補佐 関根 則子、同児童担当係長 前田 博美、同支援担当係長 砂川 順之、同支援担当主任 市川 純子 保育課長 井上 晋、同保育担当係長 榊田 英幸、同主任 北堀 彰男
会 議 次 第	別紙のとおり
配 布 資 料	次第 資料 坂戸市児童福祉審議会条例 資料 坂戸市児童福祉審議会の役割 資料1-1 幼児期の学校教育・保育の充実及び地域子ども・子育て 支援事業の進捗状況等について（平成29年度のみ） 資料1-2 同（27～31年度） 資料2 小規模保育事業所の認可及び確認について 冊子 坂戸市子ども・子育て支援事業計画の第4章 冊子 子育てガイドブック（みんなきらきら）

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
進行（事務局）	委嘱状の交付
	1 開会
	2 自己紹介
	3 あいさつ
	4 坂戸市児童福祉審議会について
	5 議事
事務局	（1）副会長の選出について ※選出方法について説明
事務局	（2）坂戸市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について ※資料に基づき説明
会長	資料の内容について意見・質問をお願いします。
委員	子育て短期支援事業は、どのような事業か？
事務局	1 週間を限度として、短期間預かるサービスである。日高市にある児童養護施設「あいの実」に委託しているが、近隣4市も委託しているため、利用希望者の希望通り確実に利用できるわけではない。 2 9年度は、相談ケースで利用の検討をしたものの、利用には至らず、実績は0件であった。
委員	妊婦健康診査の実績値と乳児家庭全戸訪問事業の実績値に大きな差があるが、子どもがあまり生まれていないということか？

事務局	<p>妊婦健診を受けていても、すべて生まれているわけではない。 出生数は減少傾向である。妊婦健診時の健診と乳児訪問は同年比較では1年のラグがある</p>
委員	<p>病児保育事業では量の見込みに対して実績数との大きな乖離があるが、今後増やす計画はあるのか。</p>
事務局	<p>本計画の策定時は病児保育事業に対する補助を実施していなかったため、量の見込みについては当時の民間で行っていた補助がない場合の実績に基づいて見込んだ裁量であるので、御承知いただきたい。本事業は、坂戸鶴ヶ島医師会の協力を得てスタートした。利用者の受入れは、現状の施設のキャパシティであれば、問題なしと判断した。ただし、インフルエンザの流行期に受入れを断ったケースがあった。今後も鶴ヶ島市と連携して進めていきたい。</p>
委員	<p>放課後児童クラブには、放課後デイサービスは含まれるのか。</p>
事務局	<p>放課後児童クラブは、両親が働いている家庭の小学生の児童を預かる場所で、障害のある児童でも施設内の活動等が可能であれば受け入れている。放課後等デイサービスなどは、障害者福祉課所管で障害者手帳や医師の診断書に基づき、専門の事業者が行っている。</p>
委員	<p>アスペルガー症候群の児童でも受け入れているのか。</p>
事務局	<p>症状にもよるが、児童クラブの職員と加配による臨時職員で対応している。なお、放課後デイサービスでは、療育指導をしており、状況によって週1～5日の利用と様々である。</p> <p>(3) 小規模保育事業所の認可及び確認について ※資料に基づき説明</p>
委員	<p>きらら保育園には医務室はないのか。</p>

事務局	既存の住宅を使用しての実施となる。医務室は設置要件ではないため、医務室がなくても問題ない。病気の際には、どこの保育園でも保護者へ連絡し、早めにお迎えに来てもらう対応をしている。
委員	園児の食事は誰がどのように準備するのか。
事務局	こひつじ園については、現在調整中である。 きらら保育園については、認可保育園で調理経験のある調理員が行う予定である。調理場と保育室の仕切りがないため、つい立を置く予定である。 平成27年度から小規模保育施設をスタートした。今年度は国の補助金を使って、アドバイザースタッフを導入した。東京では小規模保育施設で死亡事故もあったことから、本市においてもアドバイザーを導入し、事故のないようにしていく。
委員	きらら保育園の保育室で 5.83 m ² は狭いと思うので、ここを食堂にしたらどうか。
事務局	きらら保育園・こひつじ園共に、1級建築士に設計をお願いしている。運営にあたっては、検討・改善しながらやっていきたい。
委員	屋外施設はあるか。2歳児には必要だと思うが。
事務局	きらら保育園については、近くに公園がある。外遊びやお散歩も導入予定である。
委員	定員を19人から16人にしたのはなぜか。面積が減ったことによる減少か。アドバイザーは視察に同行したか。
事務局	面積が減ったことによる減少である。 アドバイザーは4月中旬からの採用であるため、視察には同行していない。 6 その他 7 閉会